



女性部総会 6月23日、記事2面

第17回 ママ友会議

●7月21日(土) 13時  
●アネックスパル法円坂  
3階和室

発行 大阪市学校園教職員組合

大阪府中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/  
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



## 安倍首相の演説掲載、内心の自由奪う

### 中学校「日本教科書」の採択は許さない 6・27



## SFとの姉妹都市解消 撤回求める決議採択、提出

教科書大阪市民の会(事務局大阪府会)と大阪府をよめる会は6月27日、「子どもたちに歴史を歪める教科書はわたさない!サンフランシスコ市との姉妹都市解消あかん」市民集会を開催し120人が参加しました。

大阪府は2015年に戦争美化の育鵬社版中学校歴史・公民教科書を採択しました。安倍首相のブレンで松井知事ともつながる八木秀次氏が「日本教科書」版中学校道徳教科書を作り教科書検定を合格(合格は8社)。

また、吉村市長は、米市民団体が建立した日本軍「慰安婦」像をサンフランシスコ市が市有化したことを理由に、60年間続く両市の姉妹都市関係を解消すると表明しています。

橋下徹市長の「慰安婦制度は必要なのは誰だってわかる。風俗業活用を」との発言がこの問題の発端です。

講演「こんな道徳教科書、子どもたちに渡せません!」で

平井美津子さん(子どもと教科書大阪ネット21事務局長)は、「日本教科書」の問題点を詳しく報告した上で、「道徳をもちや口に出すことすらはばかれる安倍首相が道徳を推進」「慰安婦」像建立に反対するなど、「日本の歴史を歪曲する動きを世界で『歴史戦』と銘打って展開する日本政府・吉村市長にサンフランシスコをはじめ世界から厳しい目がある」「道徳を推進したいのはお国のためになる子どもづくし」であり、「特別の教科書道徳にNOの声を」と強調。市民道徳、人権・平

衆院内閣委員会で自民、公明、維新がカジノ実施法案を強行採決した翌6月16



日、カジノ問題を考える大阪ネットワークがシンポジウムを開き130人が参加。特別報告で中野雅司さん(浪速産業株式会社社長)は、大阪の経済を支えてきた「なにわ商人」は家訓で質素・儉約・始末・才覚をうた

外国人観光客は2011年〜16年でカジノのあるシンガポール170%増、日本386%増、大阪595%増(17年は703%増)で観光立国にカジノはいらないと大門参院議員が指摘しました。

## なにわ商人は賭博を戒め カジノ万博で振興なし

和・民主主義の「道徳」授業が求められると指摘しました。

集会は「サンフランシスコ市との姉妹都市解消の撤回を求め

自己評価させ「内心の自由」を奪うなど重大な問題を持つ『日本教科書』の中学校道徳教科書を採

都市解消の撤回を求める決議を採択し、29日に大阪府に提出しました。

## たんぽぽ

### だより

7月

今年初めての学級担任を外れ、様々な学級経営を見、色んなワザを盗もうと日々企んでいます。

青年部総会では、「働き方改革のひみつ」というパンフレットで学習しました。28日

参加者の交流タ

イムの話題の中心は、各学校の目標管理シートを取り扱いについて。数値化のための書類が増える、作文力が試される、学級担任以外の先生は数値化が難しいなど様々な意見がで

もあ、うまくいかないこともある、それが教師だという話を聞き、目標管理シートは、教師を成長させるものからかけ離れているなど改めて感じました。

「眠れぬ夜の教師のためにノ三上満」の内容に触れ、失敗すること

「働き方」法が参議院本会議を通りましたが、過労死を助長させるとも恐ろしい「改革」です。今後私

「眠れぬ夜の教師のためにノ三上満」の内容に触れ、失敗すること

「働き方」法が参議院本会議を通りましたが、過労死を助長させるとも恐ろしい「改革」です。今後私

「眠れぬ夜の教師のためにノ三上満」の内容に触れ、失敗すること

## 目標管理シート 支援学級担任怒りの声

「平成30年度学校運営の指針」は、学校運営におけるPDC Aサイクルを確立するとし、「全市民通目標(小・中学校)」「小学校学力経年調査」「中学生チャレンジテスト」における正答率【得点】が市平均【府平均】の7割に満たない児童【生徒】の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より0ポイント減少させる」を掲げ、学校、教員に押し付けています。維新の会による教育への政治介入は際立っています。

教え子を再び戦場に送るな!

**仲間が増えた!**

講座のピラをわたす、働き方を話す  
あなたの職場でも組合員を

教採突破講座では組合加入のお誘いをします。「組合って何ですか?」と尋ねる人にていねいに説明し、6月23日の講座では2人が加入しました。講座の最後に講師組合員が自らの体験をもとに、組合が仕事や採用試験の支えになっていることを強調し、加入を強く訴えました。「新歓フェスタ」に誘った青年が加入したA分会では、大教済の担当者が職場訪問をして新採用者2人が大教済に加入しました。

講座のピラを手渡す、署名をお願いする、教育問題や働き方、平和や憲法について話す、大教済をすすめる…きっかけはさまざまです。さあ、「あなたの分会で一人、組合員を増やしましょう!」